

病害虫発生予察情報

- 1 令和 5 年度 病害虫発生予察 予報第 9 号 (12 月)
- 2 気象情報 九州北部地方 1 か月予報 (福岡管区气象台)
气象台メモ (大分地方气象台)

向こう 1 か月間における農作物の主な病害虫の発生動向は、次のように予想されます。

◎予報内容の概況

作物	病害虫名	発生面積		発生量		掲載ページ
		平年比	前年比	平年比	前年比	
白ネギ	べと病	平年並	やや多い	平年並	前年並	P.1
	ネギアザミウマ	多い	前年並	多い	やや多い	-
イチゴ	灰色かび病	平年並	前年並	平年並	前年並	P.2
	うどんこ病	平年並	多い	やや多い	多い	P.3
	ハダニ類	平年並	やや少ない	平年並	多い	P.4

◎注意事項 上記一覧表病害虫のゴシック体のみ以下に個別の記述をしています。

◎特記事項 令和 5 年度病害虫発生予察注意報 第 3 号 (ピーマン アザミウマ類) : 令和 5 年 8 月 25 日
令和 5 年度病害虫防除技術情報 第 5 号 (トマトキバガ) : 令和 5 年 9 月 22 日
令和 5 年度病害虫防除技術情報 第 6 号 (秋季の高温傾向時における防除対策)
: 令和 5 年 10 月 2 日
令和 5 年度病害虫発生予察注意報 第 4 号 (トマト トマトキバガ) : 令和 5 年 11 月 2 日

白ネギ (平坦地)

1 べと病 (令和 5 年 10 月 2 日 病害虫防除技術情報 第 6 号発表)

(1) 予報内容

発生面積 : 平年並

発生量 : 平年並

(2) 予報根拠

ア 11 月中旬の巡回調査では、発生圃場率は平年並であり、平均発病株率は平年より少なかった。

発生圃場率 : 12.5% (平年 : 12.5%、前年 : 0%)

平均発病株率 : 2.0% (平年 : 4.7%、前年 : 0%)

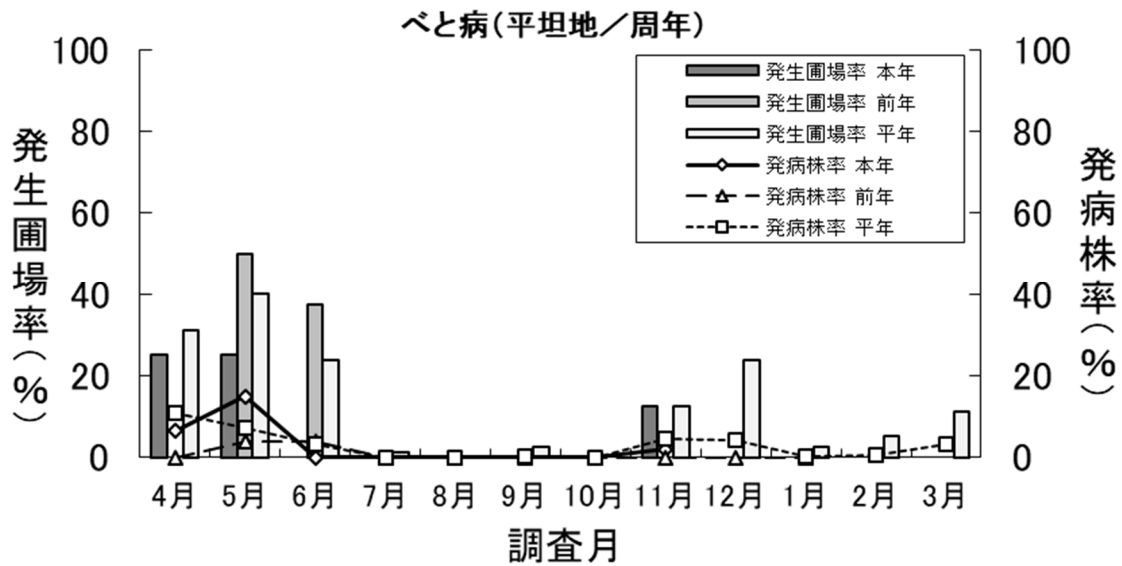
イ 本病は気温 13~20℃、多雨条件で発生が助長されるが、向こう 1 か月の気象予報によれば、平均気温は、平年並 40%、高い確率 20%、降水量は、平年並 30%、多い確率 20%と予想されている (気象情報参照)。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発病後の防除は効果が劣るため、気象情報を参考に発病前から防除を行う。

イ この時期の散布は、曇雨天日や朝夕を避け、できるだけ晴天日の日中に行う。

ウ 同一系統薬剤を連続使用しないようにし、他系統薬剤とのローテーション (輪番) 使用を行う。



イチゴ

1 灰色かび病 (令和5年10月2日 病害虫防除技術情報 第6号発表)

(1) 予報内容

発生面積：平年並

発生量：平年並

(2) 予報根拠

ア 11月中旬の巡回調査では発生圃場率、平均発病果率ともに平年並であった。

発生圃場率：0% (平年：1.0%、前年：0%)

平均発病果率：0% (平年：0.0%、前年：0%)

イ 本病は多湿条件で発生が助長されるが、向こう1か月の気象予報によれば、降水量は、平年並30%、多い確率20%と予想されている (気象情報参照)。

(3) 防除上注意すべき事項

ア ハウス内の菌密度が高いほど発病しやすくなるので、発病果や発病葉は見つけ次第ハウス外に持ち出し、土中に埋める等の処分を行って胞子の飛散を抑える。また、換気等に注意し、ハウス内の過湿防止に努める。

イ 曇雨天時の防除については水和剤等の使用を控え、くん煙剤等を使用すると過湿防止に有効であるとともに省力的である。

ウ 本病は薬剤耐性菌を生じやすいので、同一系統薬剤を連続使用しないようにし、他系統薬剤とのローテーション (輪番) 使用を行う。

エ 感受性検定の結果、アゾキシストロビン剤およびピラクロストロビン剤 (FRAC:11)、メパニピリム剤 (FRAC:9) は耐性菌率が高いため、少発生時の防除、予防目的での使用にとどめる。

2 うどんこ病（令和5年10月2日 病害虫防除技術情報 第6号発表）

（1）予報内容

発生面積：平年並

発生量：やや多い

（2）予報根拠

ア 11月中旬の巡回調査では、発生圃場率は平年よりやや高く、平均寄生株率は平年より高かった。

発生圃場率：20.0%（平年：16.0%、前年：10.0%）

平均発病株率：8.4%（平年：3.9%、前年：0.4%）

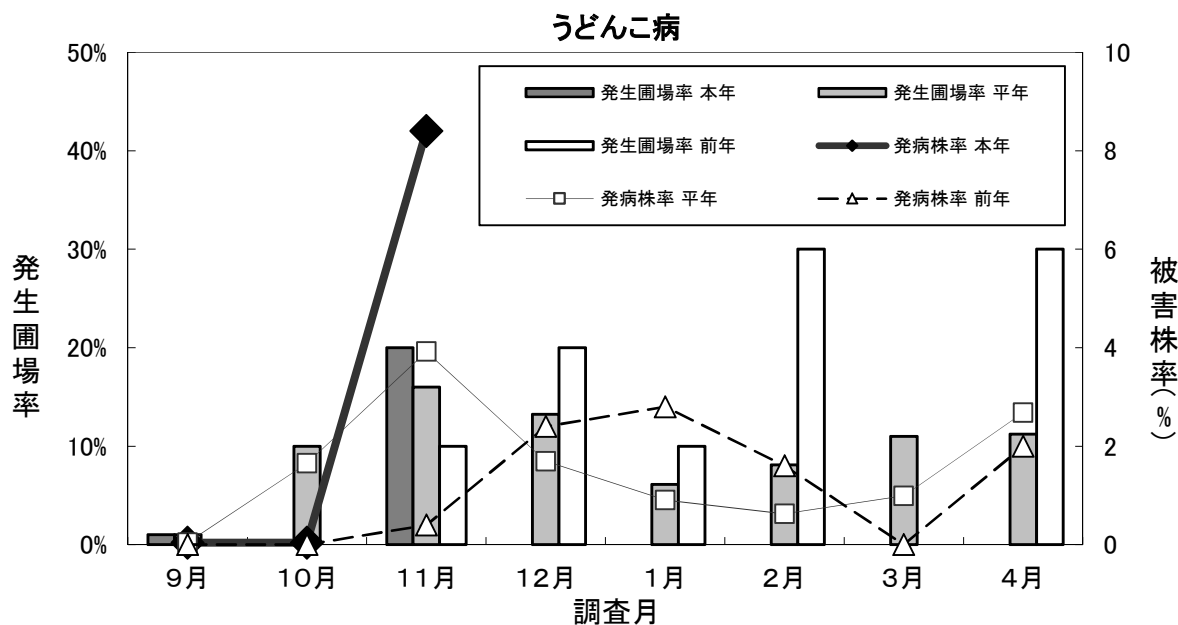
イ 本病は気温20°C程度の時に発生が助長されるが、向こう1か月の気象予報によれば、平均気温は、平年並40%、高い確率20%と予想されている（気象情報参照）。

（3）防除上注意すべき事項

ア 初め葉裏に発生しやすいので、早期発見に努める。

イ 発病初期のうちに治療効果の高い薬剤を中心に、散布間隔を短くするなどして集中的に散布する。

ウ EBI剤(FRAC: 3)やストロビルリン系(FRAC: 11)薬剤は連用すると耐性菌を生じやすいので、系統の異なる薬剤とのローテーション（輪番）使用を心がける。



3 ハダニ類 (令和 5 年 10 月 2 日 病虫害防除技術情報 第 6 号発表)

(1) 予報内容

発生面積：平年並

発生量：平年並

(2) 予報根拠

ア 11 月中旬の巡回調査では、発生圃場率、平均寄生株率ともに平年より低かった。

発生圃場率：20.0% (平年：41.0%、前年：50.0%)

平均寄生株率：10.4% (平年：17.9%、前年：5.2%)

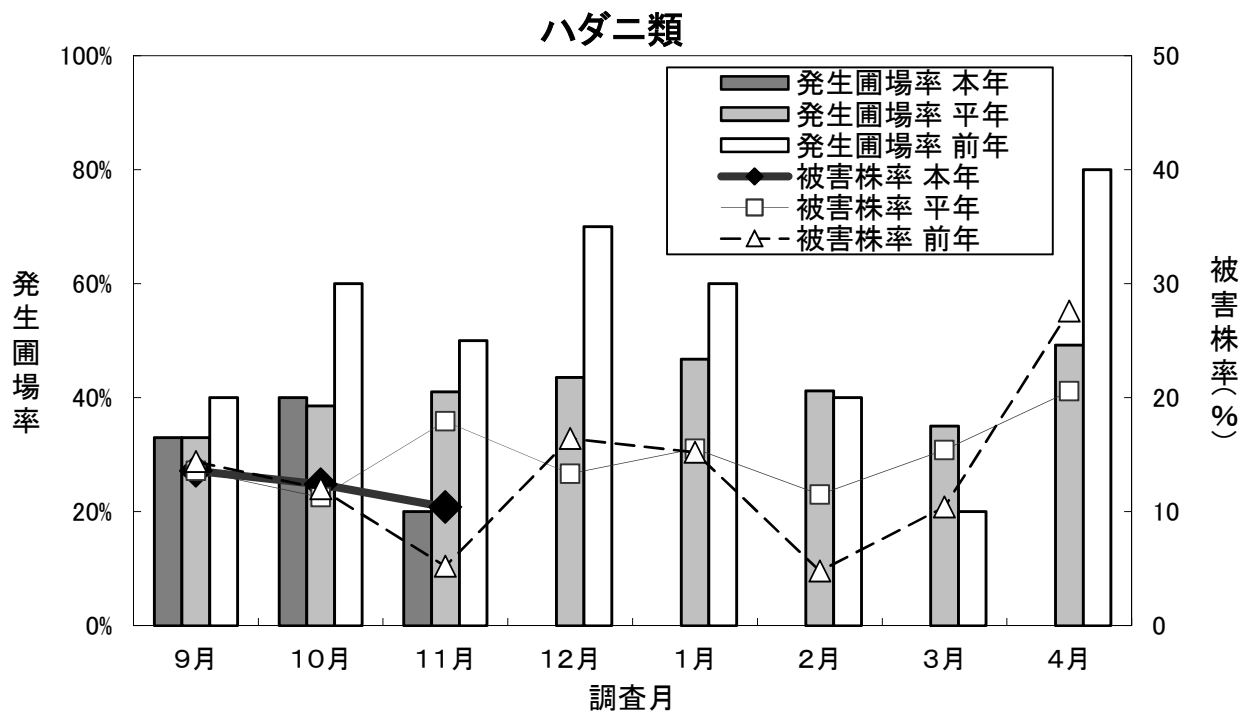
イ 本虫は高温条件で発生が助長されるが、向こう 1 か月の気象予報によれば、平均気温は、平年並 40%、高い確率 20%と予想されている (気象情報参照)。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 本虫の増殖力は高く、寄生密度が上昇してからでは防除が困難であるので、早期発見に努め、葉裏を中心に防除を行う。

イ 本虫は薬剤抵抗性が発達しているため、天敵 (カブリダニ類) を利用する。

ウ 2 回目以降の天敵放飼は、ハダニ類が確認できない場合でも予防的に実施する。



※ 薬剤の詳細は大分県主要農作物病虫害及び雑草防除指導指針、又は各地区防除暦を参照する

気象台メモ

大分地方気象台

◎ 九州北部地方（山口県を含む）1か月予報（福岡管区気象台発表）

- ・発表：令和5年11月23日（毎週木曜日に発表）
- ・予報期間：令和5年11月25日～令和5年12月24日

【予想される向こう1か月の天候】

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

期間の前半は、気温がかなり低くなる可能性があります。

平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、少ない確率50%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率50%です。2週目は、低い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

【向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）】

要素	予報対象地域	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気温	九州北部地方（山口県を含む）	40	40	20
降水量	九州北部地方（山口県を含む）	50	30	20
日照時間	九州北部地方（山口県を含む）	20	40	40

◎ 九州北部地方（山口県を含む）3か月予報（福岡管区気象台発表）

- ・発表：令和5年11月21日
- ・予報期間：令和5年12月～令和6年2月

【予想される向こう3か月の天候】

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

12月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。

1月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

2月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

【向こう3か月の気温、降水量の各階級】

3か月	気温：高い	降水量：平年並か多い
12月	気温：高い	降水量：ほぼ平年並
1月	気温：高い	降水量：平年並か多い
2月	気温：高い	降水量：平年並か多い

【向こう3か月の気温の各階級の確率（%）】

気温	予報対象地域	低い	平年並	高い
3か月	九州北部地方（山口県を含む）	10	30	60
12月	九州北部地方（山口県を含む）	20	30	50
1月	九州北部地方（山口県を含む）	20	30	50
2月	九州北部地方（山口県を含む）	20	30	50

【向こう3か月の降水量の各階級の確率（%）】

降水量	予報対象地域	少ない	平年並	多い
3か月	九州北部地方（山口県を含む）	20	40	40
12月	九州北部地方（山口県を含む）	30	30	40
1月	九州北部地方（山口県を含む）	20	40	40
2月	九州北部地方（山口県を含む）	20	40	40

10月下旬(多照)

天気は、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。気温は、玖珠、湯布院で平年よりかなり低く、他は低いか、平年並だった。降水量は、武蔵、玖珠、湯布院で平年より少なく、他はかなり少なかった。日照時間は、平年よりかなり多かった(多照)。

※大分市の旬平均気温は17.1℃で平年並だった。旬降水量は0.0ミリで平年よりかなり少なかった。旬日照時間は96.3時間で平年よりかなり多かった。

11月上旬

天気は、後半は前線、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨となる日もあったが、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。気温は、平年より高いか、かなり高かった。降水量は、平年より少ないか、平年並だった。日照時間は、中津、蒲江で平年並、他は平年より多かった。

2日は湯布院、宇目、5日は日田、蒲江で「日最高気温の高い方から」、6日は蒲江で「日最低気温の高い方から」、7日は国見で「日最大瞬間風速・風向」、10日は国見で「日最大風速・風向」が11月の1位の値を更新した。

※大分市の旬平均気温は18.1℃で平年よりかなり高かった。旬降水量は8.5ミリで平年より少なかった。旬日照時間は68.4時間で平年より多かった。

11月中旬

天気は、低気圧や前線、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。気温は、平年より低かった。降水量は、平年より少ないか、平年並だった。日照時間は、平年より多いか、かなり多かった。

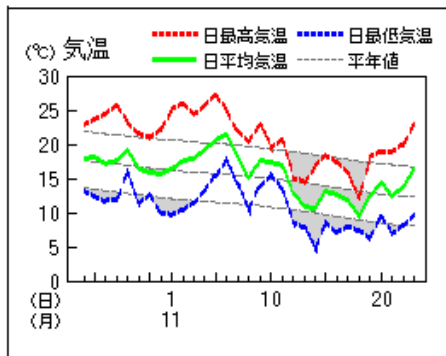
18日は中津、豊後高田、竹田、佐伯で「日最大風速・風向」、国見、中津、豊後高田、竹田で「日最大瞬間風速・風向」が11月の1位の値を更新した。

18日に由布岳の初冠雪を観測した。平年(11月29日)より11日早く、昨年(12月1日)より13日早かった。

※大分市の旬平均気温は12.5℃で平年より低かった。旬降水量は5.5ミリで平年より少なかった。旬日照時間は68.4時間で平年よりかなり多かった。

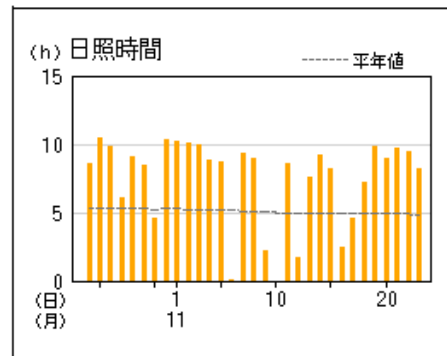
地上気象 気象経過図：2023年10月24日-2023年11月23日

大分



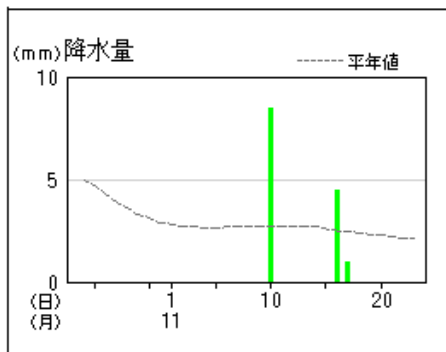
地上気象 気象経過図：2023年10月24日-2023年11月23日

大分



地上気象 気象経過図：2023年10月24日-2023年11月23日

大分



適正防除はホームページで!!

☆令和5年2月10日より

新ホームページに移行しました

<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/>

または

病虫害対策チーム

検索



農業研究部

病虫害対策チーム

葉根菜類・茶業チーム

果樹グループ

花きグループ

地域農業振興課

安全農業班

大分県農林水産研究指導センター

農業研究部 病虫害対策チーム

〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺 2328-8

Tel. 0974-28-2078

Fax. 0974-22-0940

大分県農林水産部地域農業振興課 安全農業班

〒870-8501 大分県大分市大手町 3-1-1

Tel. 097-506-3661

農薬は正しく安全に使いましょう!